

# 変化する学生の就職観と 企業の採用傾向

株式会社マイナビ  
編集長 高橋誠人

- 1. 現在の就職環境**
- 2. 学生の就職観**
- 3. インターンシップについて**
- 4. 保護者の関わり**

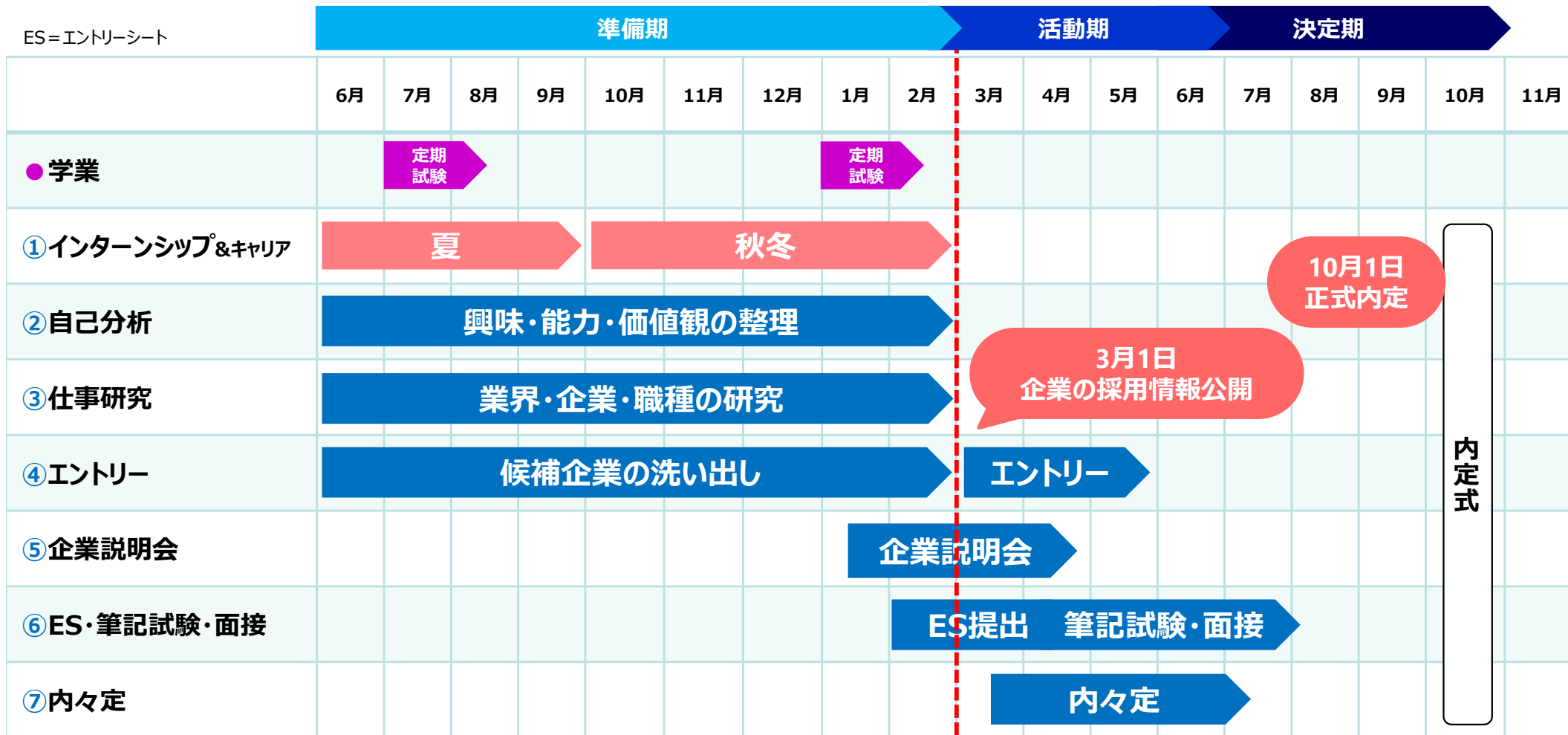
	過 去	現 在
主な情報源	就職情報誌	就職情報サイト
応募方法	資料請求／電話	WEBエントリー
選考試験	履歴書／面接	エントリーシート (紙・WEB) 筆記試験 (紙・WEB) 面接 (対面・WEB) など
就活準備	企業訪問、履歴書作成 など	自己分析／仕事研究 模試テスト／模擬面接 など

以前は企業の採用活動に合わせた「点」の活動という捉え方だったが、入学～卒業後のキャリア形成という「線」の捉え方に

B3/M1

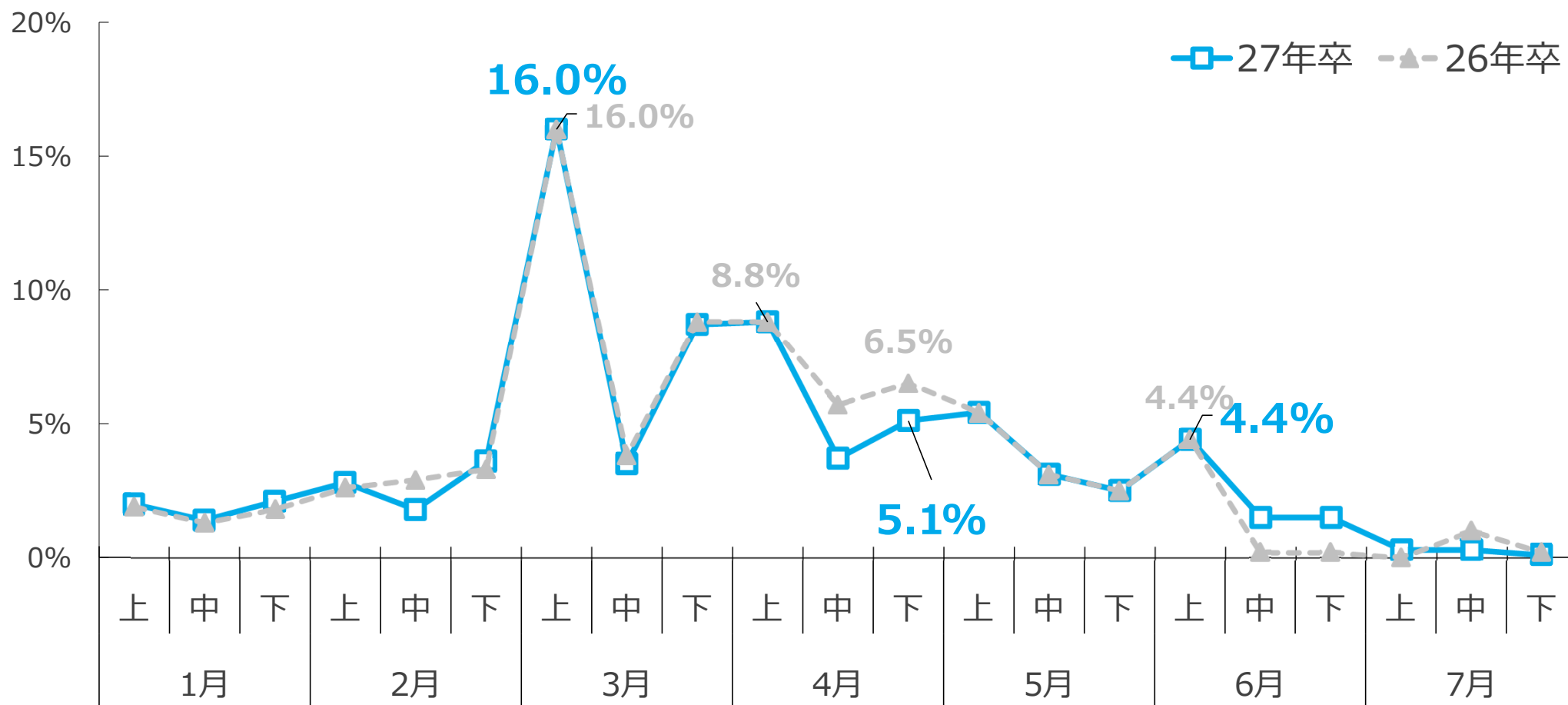
B4/M2

ES = エントリーシート



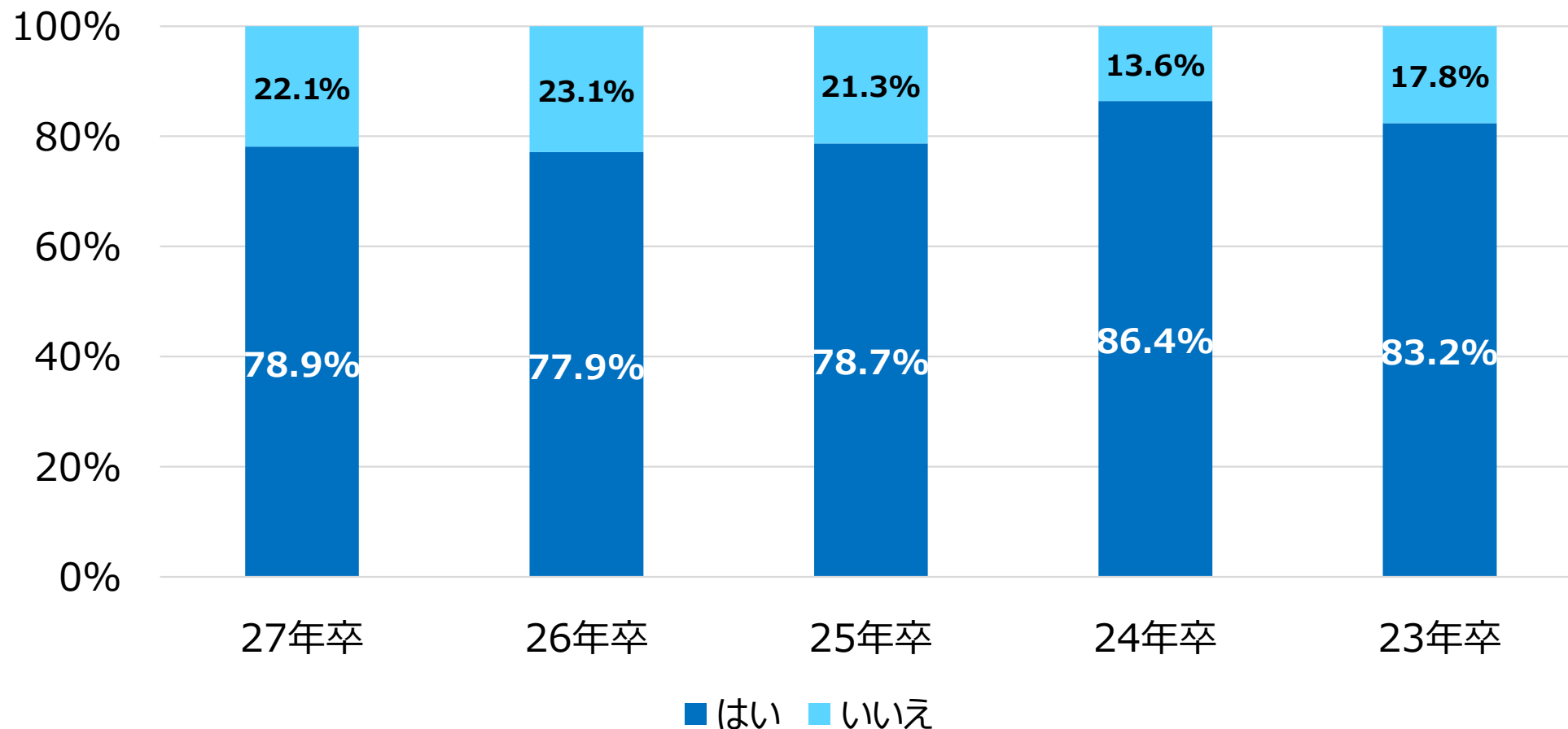
学業や課外活動を優先しつつも、卒業後を見据え、自己分析や業界研究など早めの準備が大切

## 内々定出し開始時期は？



**民間企業は3月上旬が内々定出し開始時期のピーク  
(公務員は3月中旬～6月が試験のピーク)**

公務員志望だが、民間企業も併願していますか？



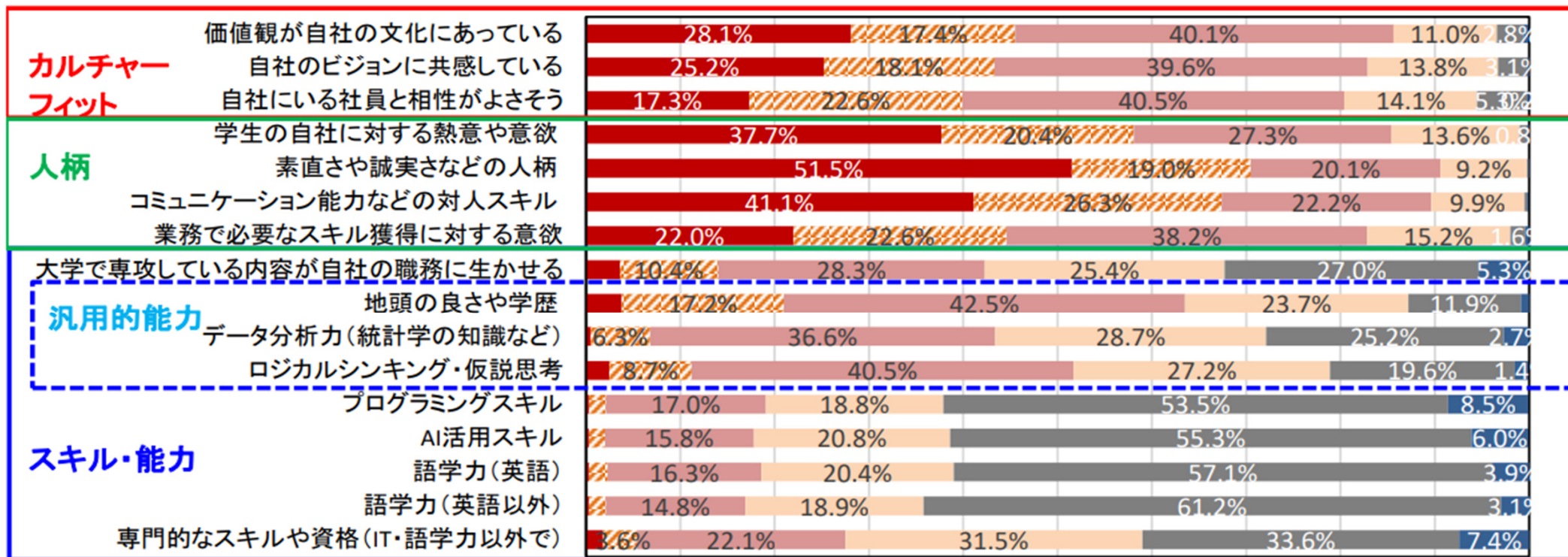
公務員を志望している学生のうち、  
約8割が民間企業を併願している

# 新卒採用時の評価ポイント

## 新卒採用で重視していること

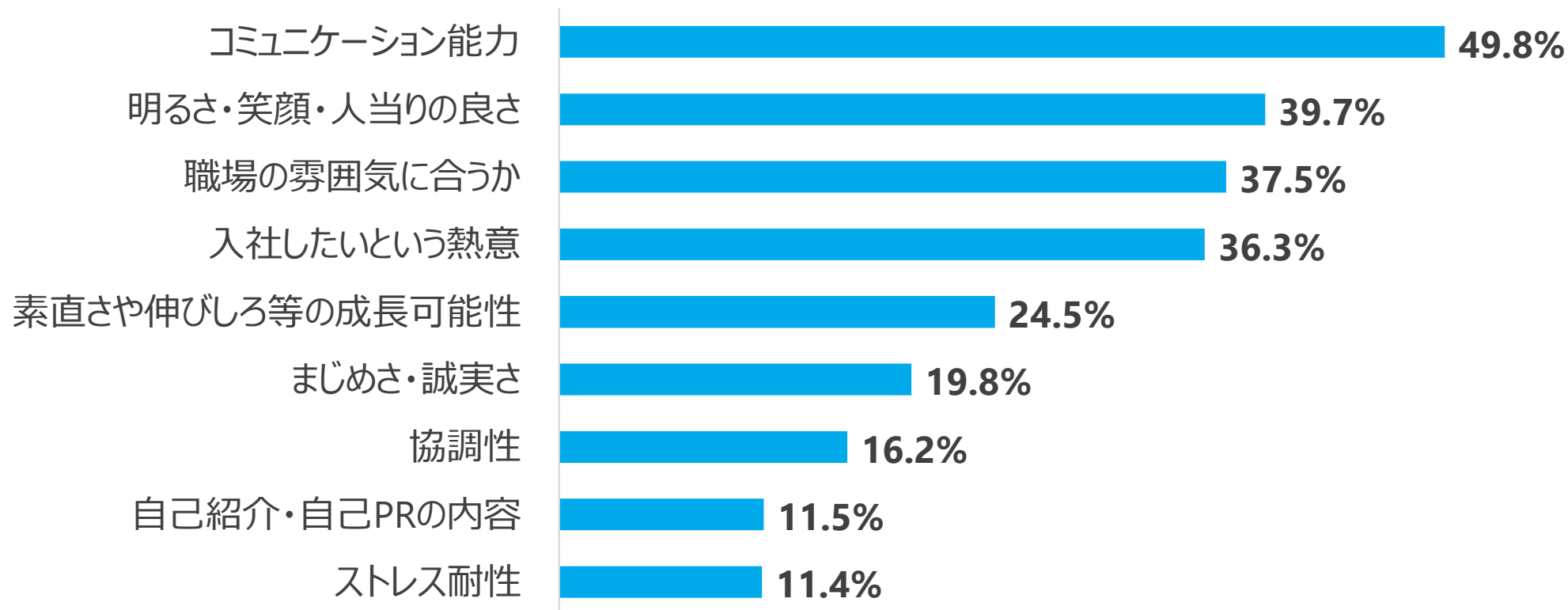
- 絶対に必要(最低限必要)
- あれば望ましい(ボーダーラインの際に合格にしやすい)
- 必要としない
- ▨ 必須ではないが、無い場合に別の要件で補う必要あり
- あれば優遇される
- 特定の職種のみ必要

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



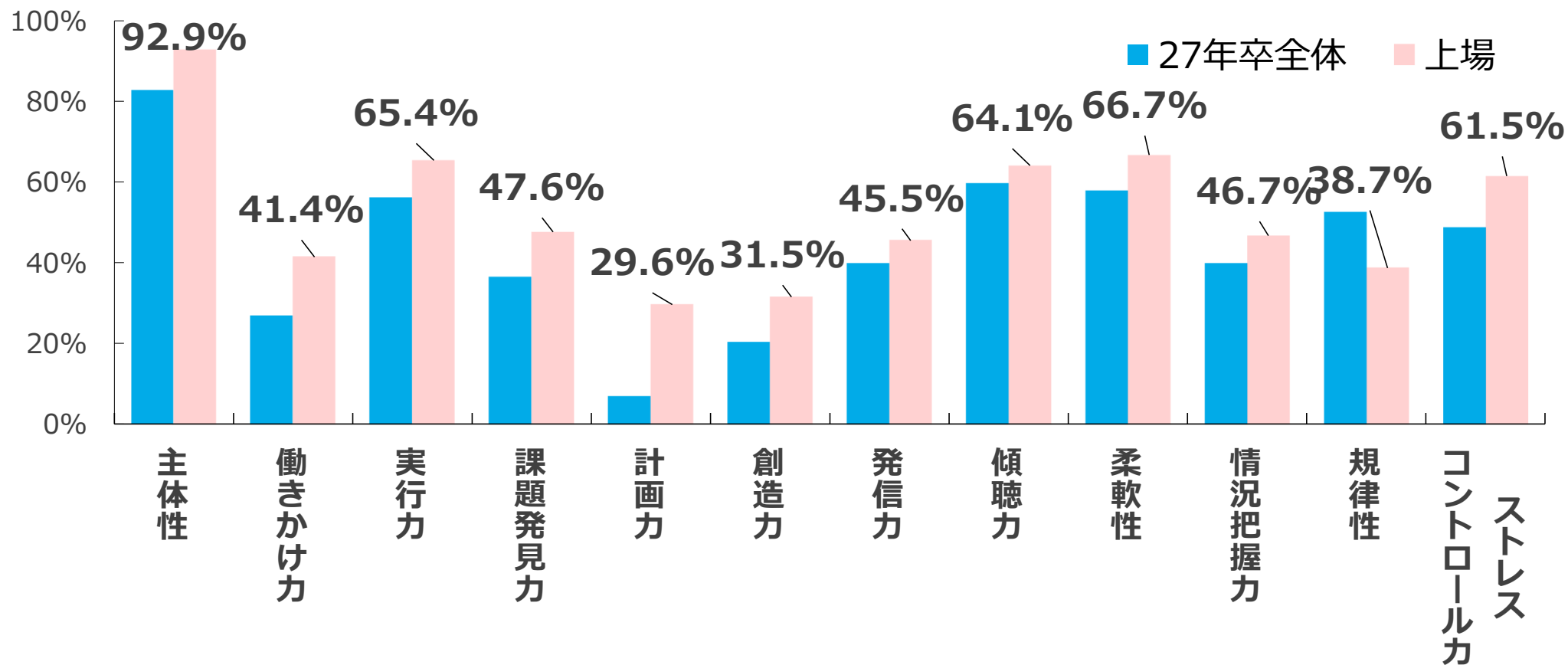
一般的に、語学力や資格、特定のスキルが重視されると  
思われているが、新卒は人柄や社風に合うかが重視される

## 面接時に特に注視するところ【重要度の高いものから3つまで選択】 n=2,622

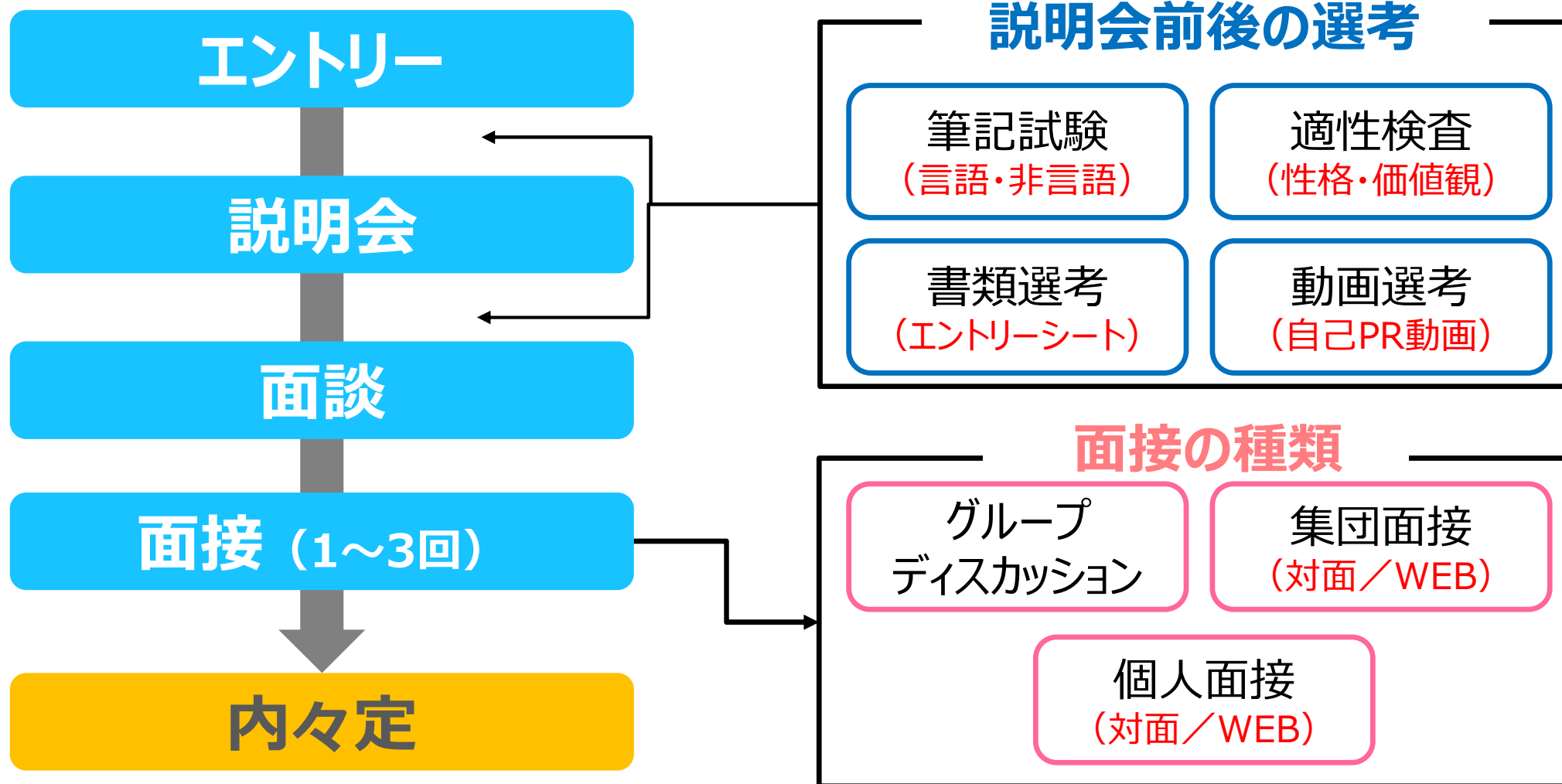


面接においてもコミュニケーション能力や人柄、社風に合うか、入社への熱意などが注視されている

## 選考時に重視する力【社会人基礎力】は？

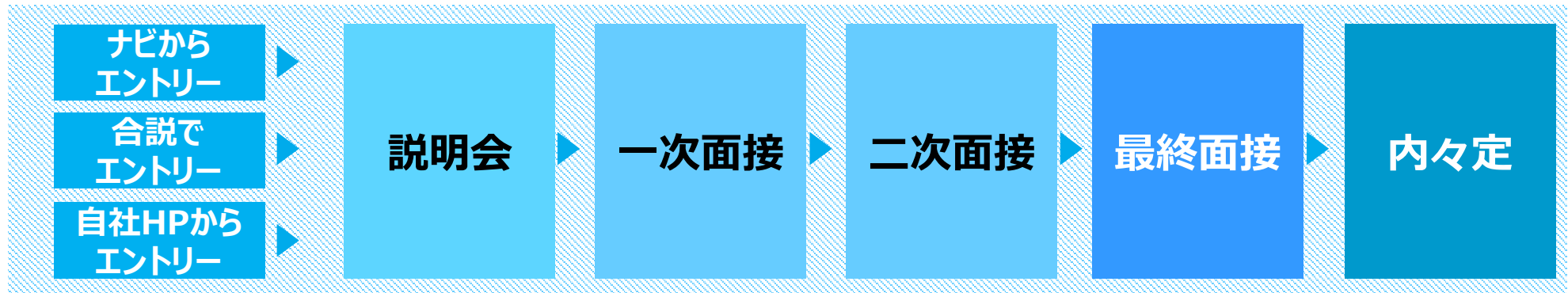


AI、ロボットが急速な進歩をしていくなか、自分で考えて判断できる＜主体性のある＞人材が求められている



応募者が多い企業は、筆記や書類選考で絞り込み、  
面談と称して面接前に学生と接触するケースもある

## ■コロナ禍前までの採用の流れ（例）



## ■コロナ禍後はハイブリッド選考へ（例）



対面、WEBとどちらにおいても、自分の考えを  
しっかり伝えられる日ごろの経験、準備が重要

## 自己PR

私のこのような所が  
仕事のここにマッチしている

自己理解

興味  
価値観  
能力

職業  
選択

## 志望動機

仕事のこのような所が  
私のここにマッチしている

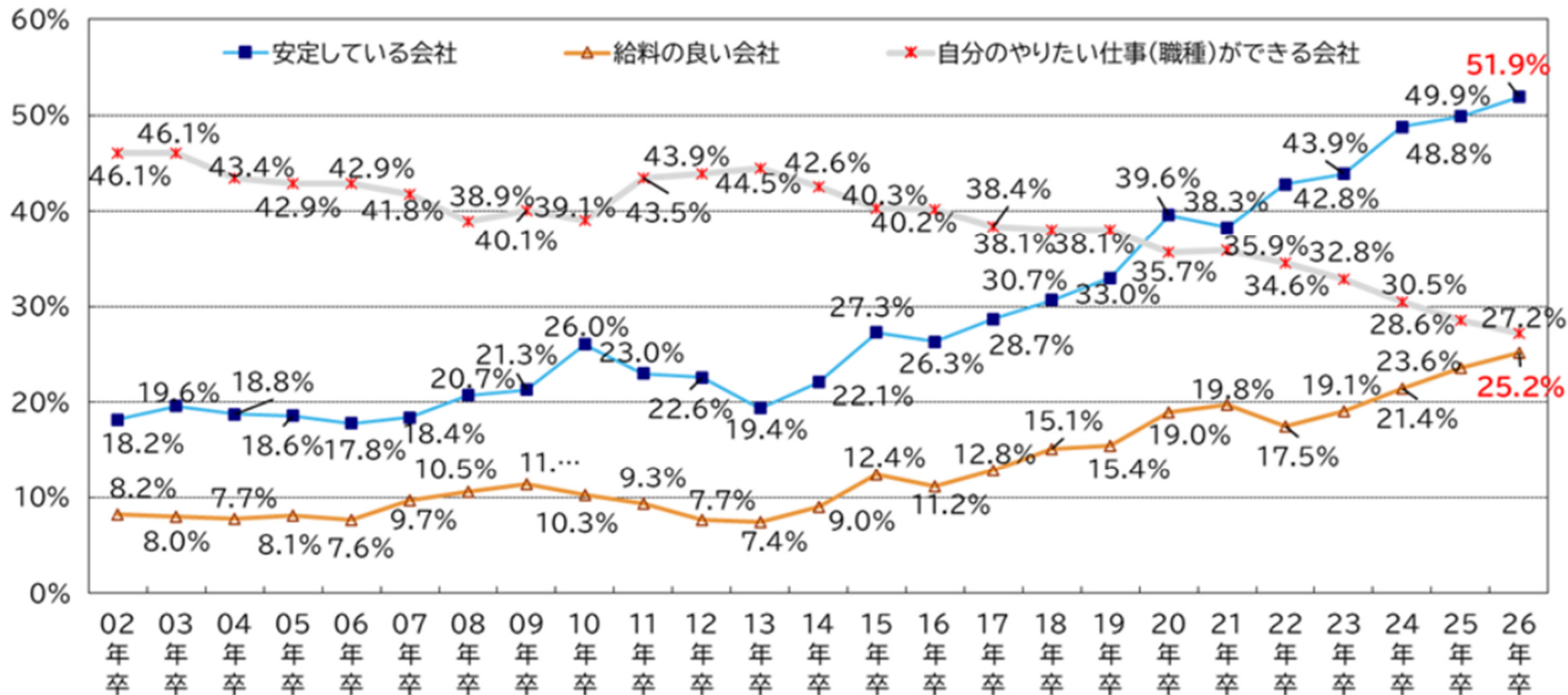
業界/業種  
企業  
職種

仕事理解

自分に合った仕事に就く（適職を見つける）には、  
自分と仕事への理解の深さ（情報の多さ）が重要

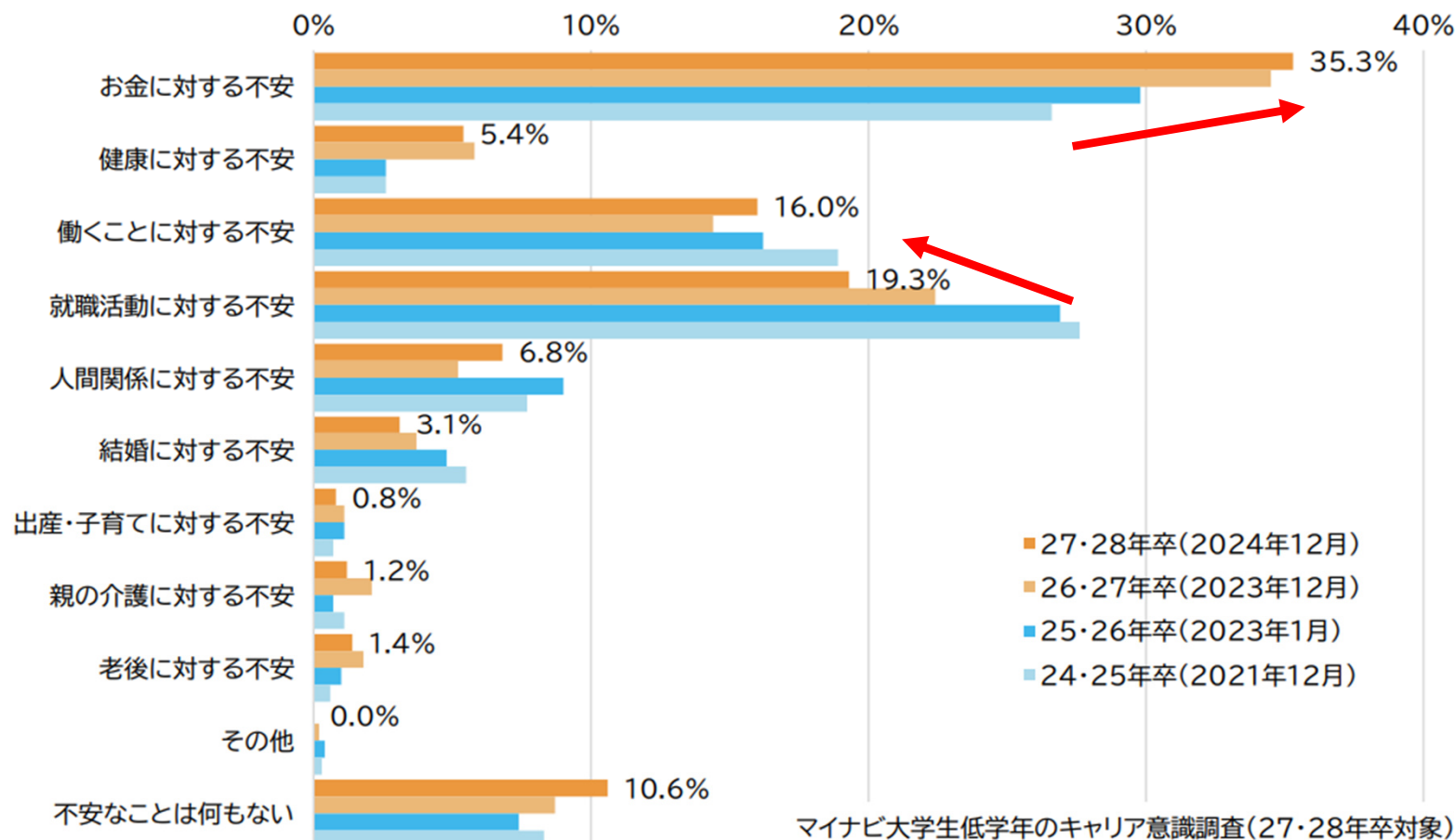
1. 現在の就職環境
- 2. 学生の就職観**
3. インターンシップについて
4. 保護者の関わり

## 企業選択のポイント



「安定している会社」、「給与の良い会社」が増加し、  
「自分のやりたい仕事ができる会社」が減少傾向に

## 自分の将来に対して最も不安に感じていることは？

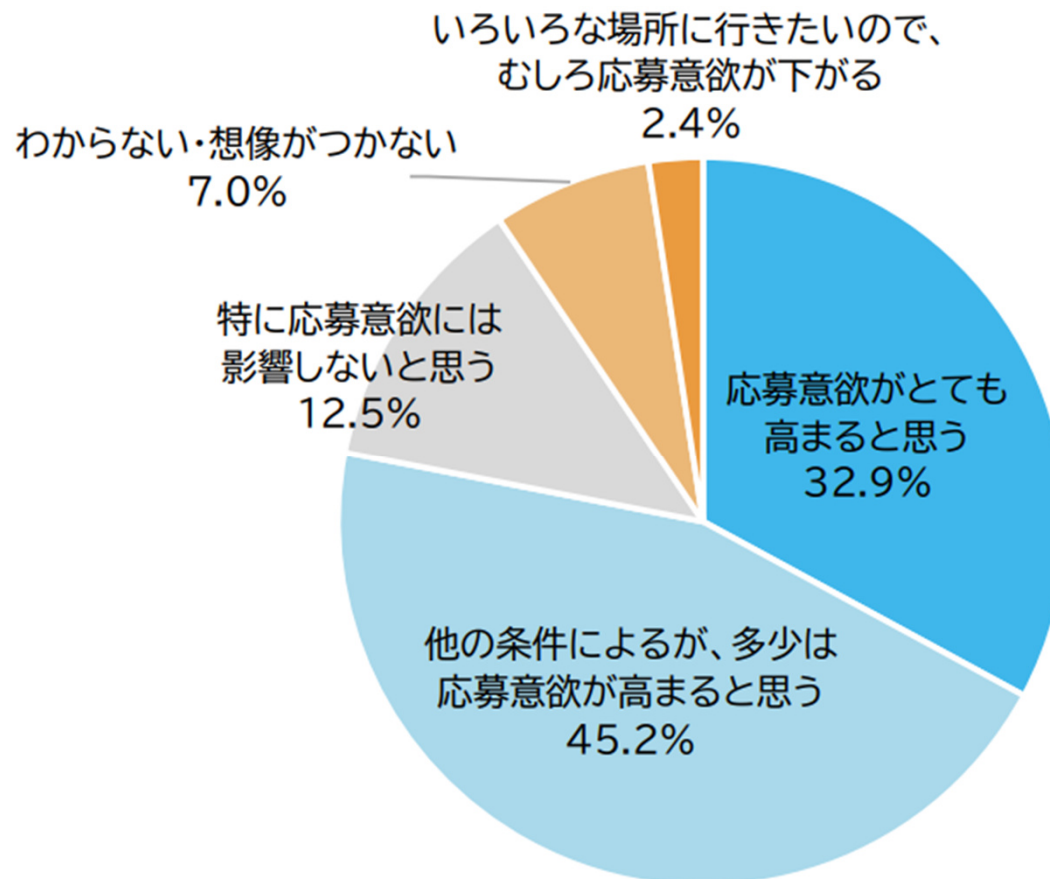


ここ数年、「就職活動に対する不安」は減少し、  
「お金に対する不安」が増加している

項目	承諾の決め手	3月時点の 企業選択 注目ポイント※	順位
1位 福利厚生制度が充実している	37.9%	37.5%	2
2位 希望する勤務地で働ける	31.1%	35.5%	3
3位 給与や賞与が高い	29.1%	39.2%	1
4位 企業経営が安定している	26.6%	21.1%	6
5位 社員の人間関係が良い	23.5%	31.8%	4

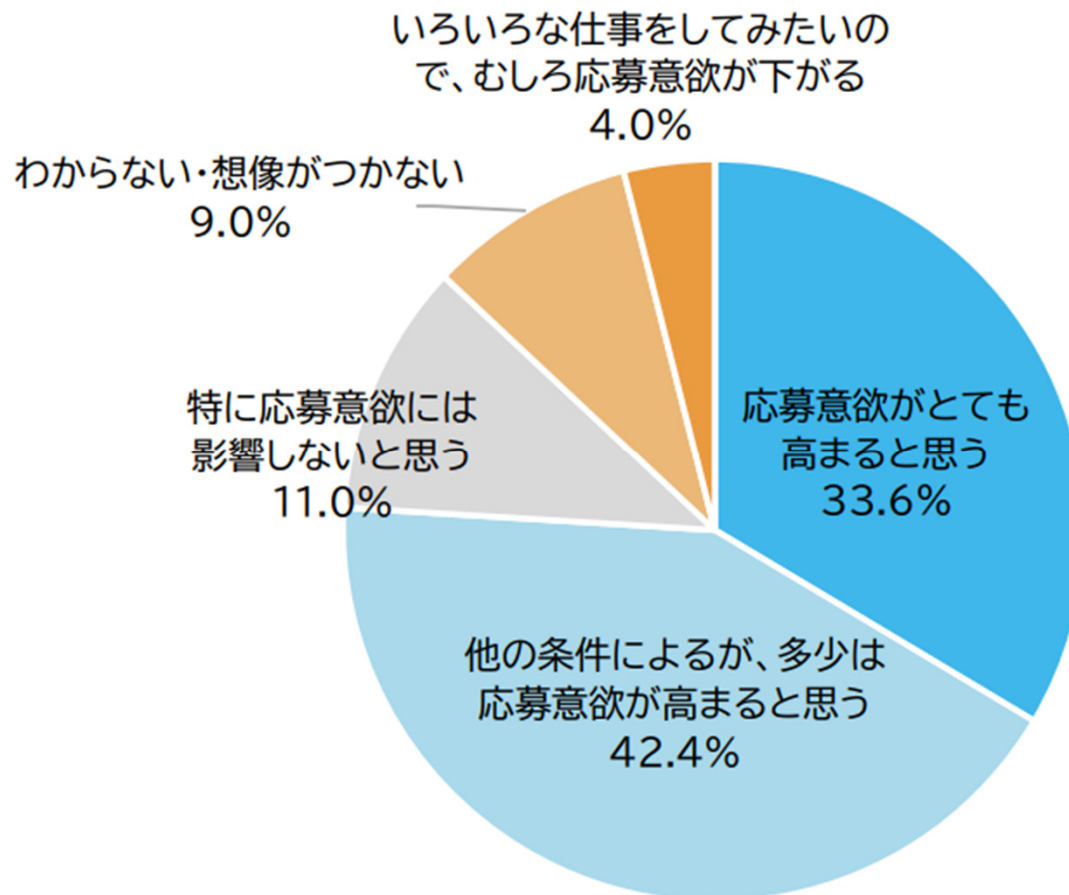
**福利厚生が充実（手当や休暇取得）して、  
入社後の働くイメージができる企業が好まれる傾向に**

## 最初の勤務地が決まっている企業に対する応募意欲は？



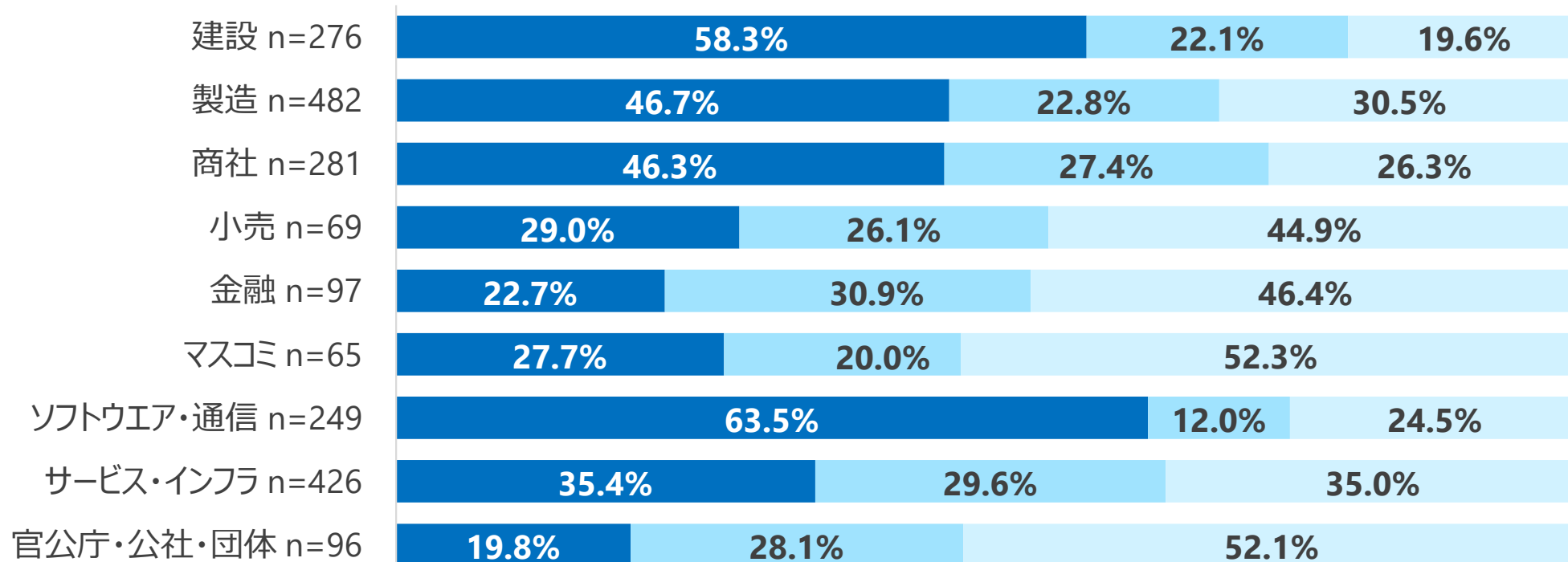
**「初任地確約採用」のような、入社後に自分が働くイメージができる企業への応募意欲が高まる傾向に**

## 最初の職種が決まっている企業に対する応募意欲は？



**勤務地同様、入社後に自分が働くイメージや成長イメージが出来る企業は応募意欲が高まる傾向に**

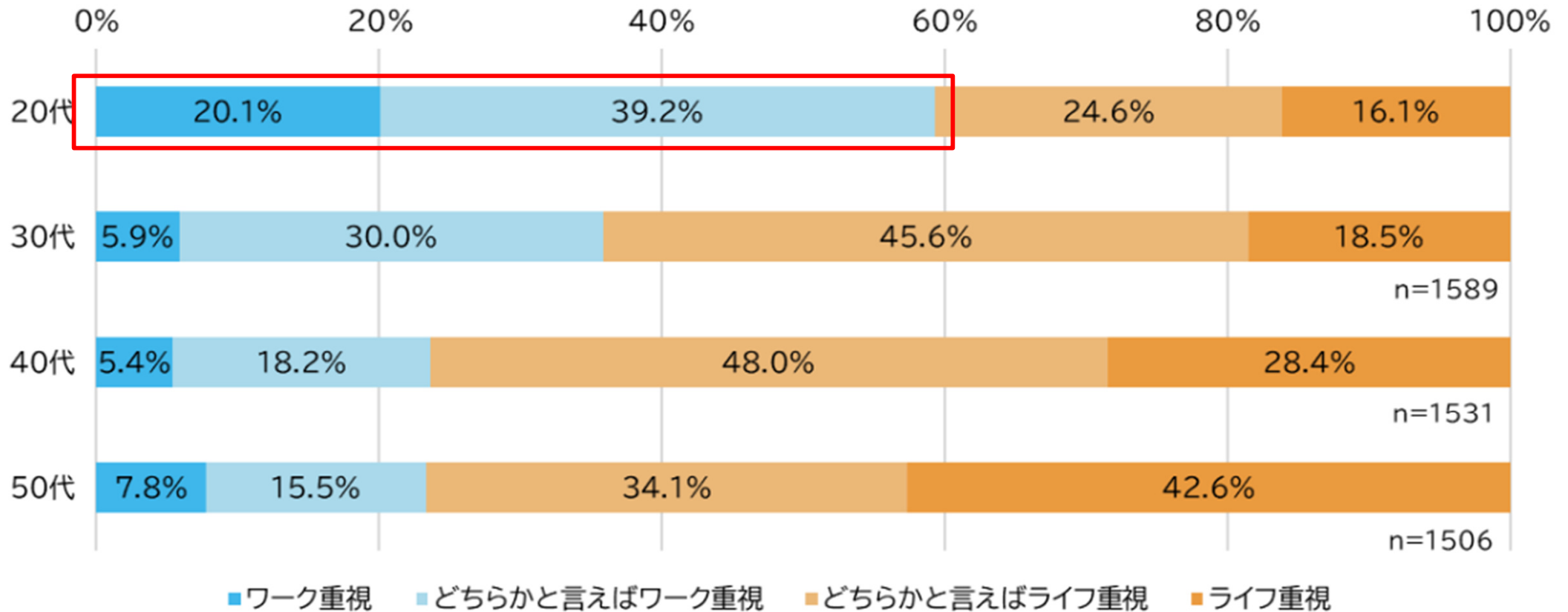
## 26年卒入社予定の方の募集時時コース設定をしているか？



■ 職種別コースを設定している
 ■ 職務を限定しない枠（総合職等）を含む、職種別コースを設定している
 ■ 職務を限定しない枠（総合職等）のみ

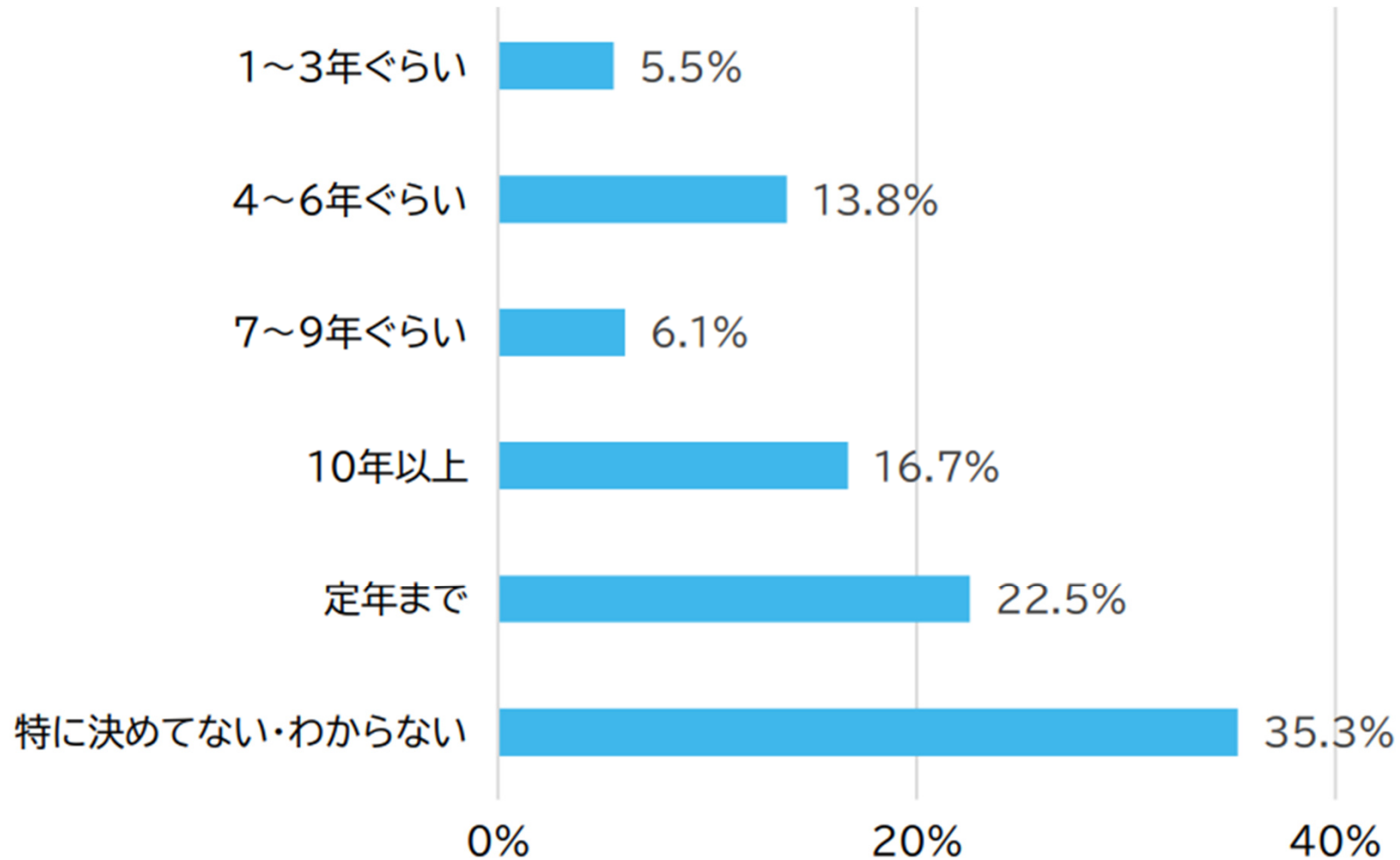
**学生のキャリア観、就職観に対応しており、  
 全体では職種別コース設定を42%の企業が実施**

## 仕事と生活のどちらを重視するか？



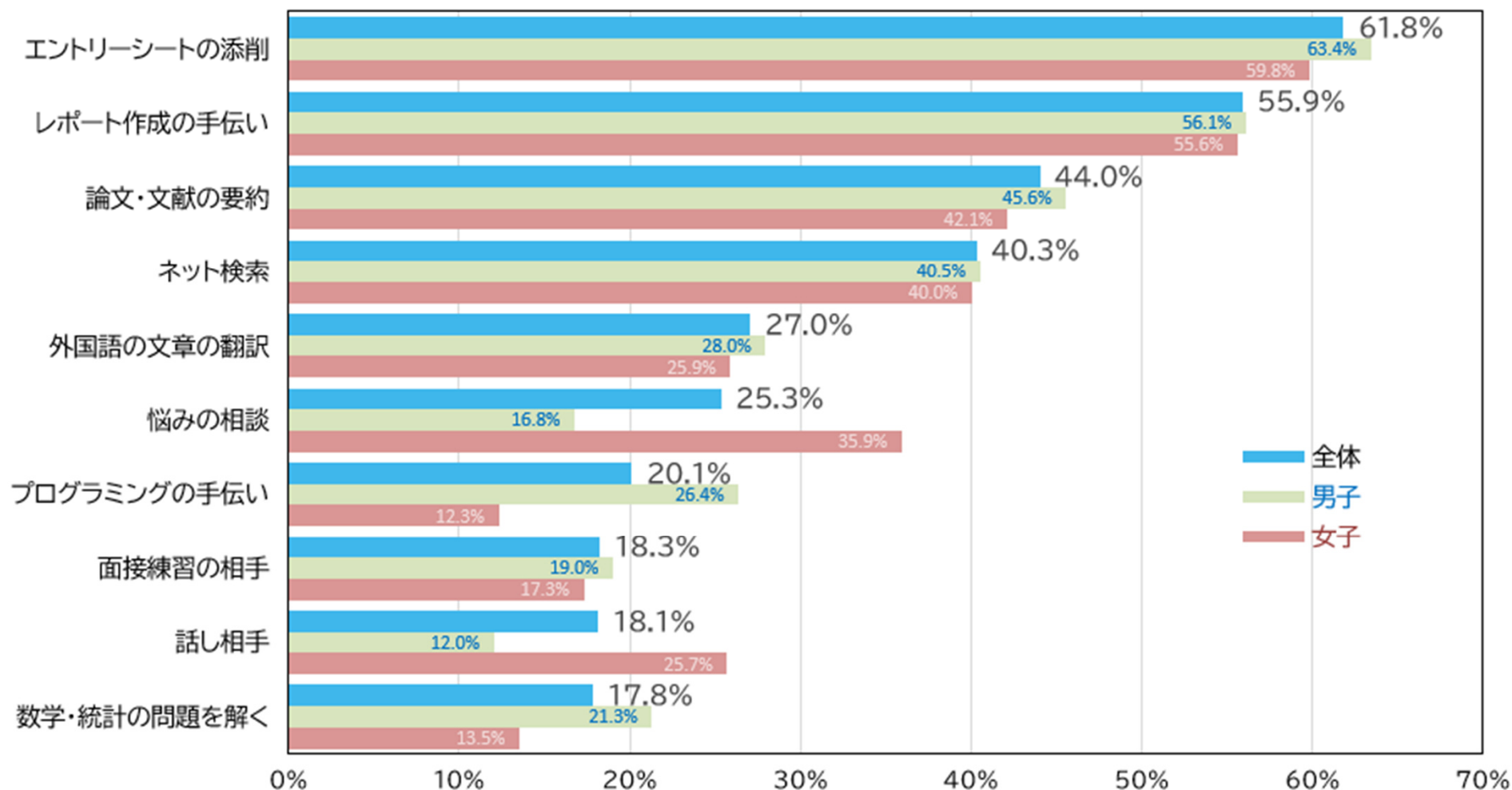
**20代のワーク重視派は59.3%（昨年比1.6ptアップ）  
となり、ワーク重視の傾向が強まる**

# 入社する企業で何年働きたいか



就職活動時での調査は、「特に決めていない・分からない」  
が35.3%だが、「定年まで」「10年以上」が続く

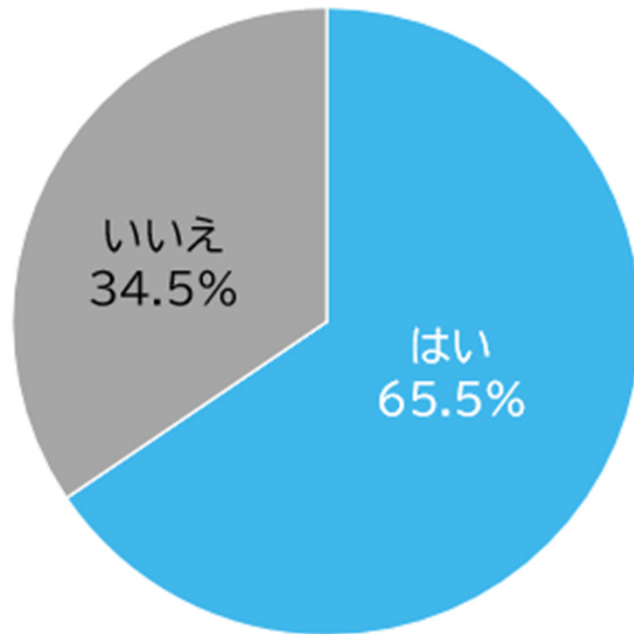
# AIを普段どのように利用しているか



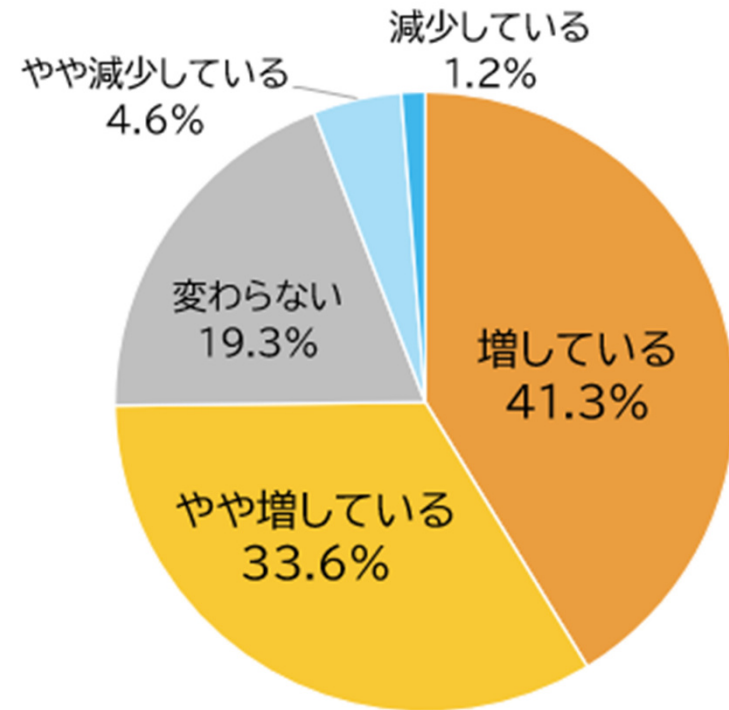
AIの日常利用では、文章の添削、作成補助、論文・文献の要約など文章作業を中心に使用している

## 生成AIによる情報収集経験とリアルな場で得られる情報の重要性

生成AIを使って、業種・職種・企業に関する情報収集をした経験はあるか

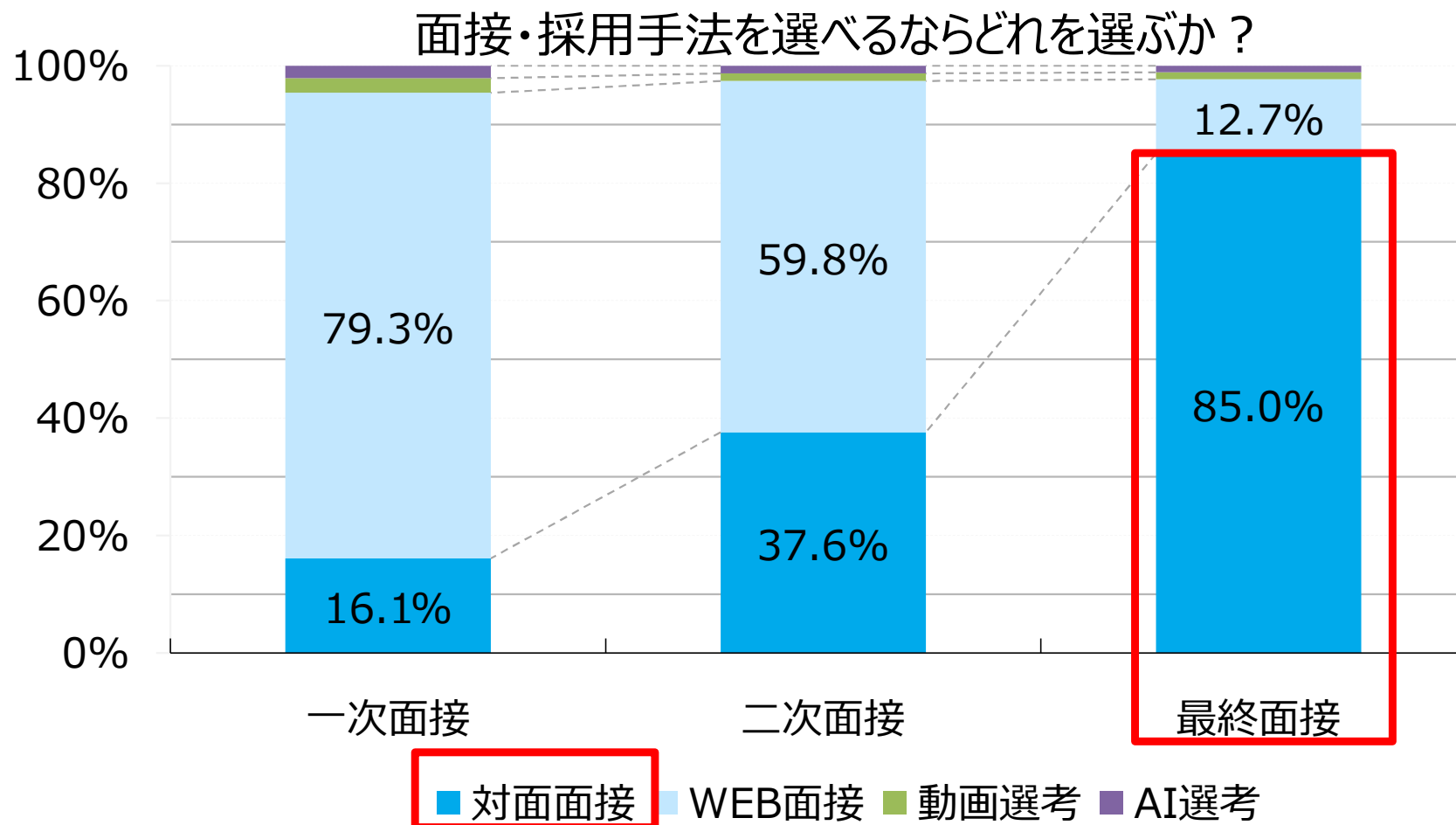


AIで情報収集ができる時代において、リアルな場で得られる情報の重要性について



**生成AIによる情報収集は一般的になっているものの、リアルな場での情報の価値にも気づいている**

# 一次面接はWEB、最終面接では対面



対面、WEB双方の利点を理解しており、  
自分自身で直接企業を確かめたいと考える学生も多い

1. 現在の就職環境
2. 学生の就職観
- 3. インターンシップについて**
4. 保護者の関わり

タイプ1

## オープン・カンパニー

企業・就職情報会社・大学が主催する

### イベント・説明会

就業体験：なし

期間：超短期（単日）

対象：年次不問



タイプ2

## キャリア教育

### 授業や企業による教育プログラム

就業体験：任意

期間：内容によって異なる

対象：年次不問



タイプ3

汎用的能力・専門活用型

## インターンシップ

### 職場における実務体験

就業体験：必須（参加期間の半分以上）

期間：汎用...5日以上 専門...2週間以上

対象：学部3・4年／修士1・2年



タイプ4

高度専門型

## インターンシップ

### 専門性を要求される実務体験

就業体験：必須

期間：2か月以上

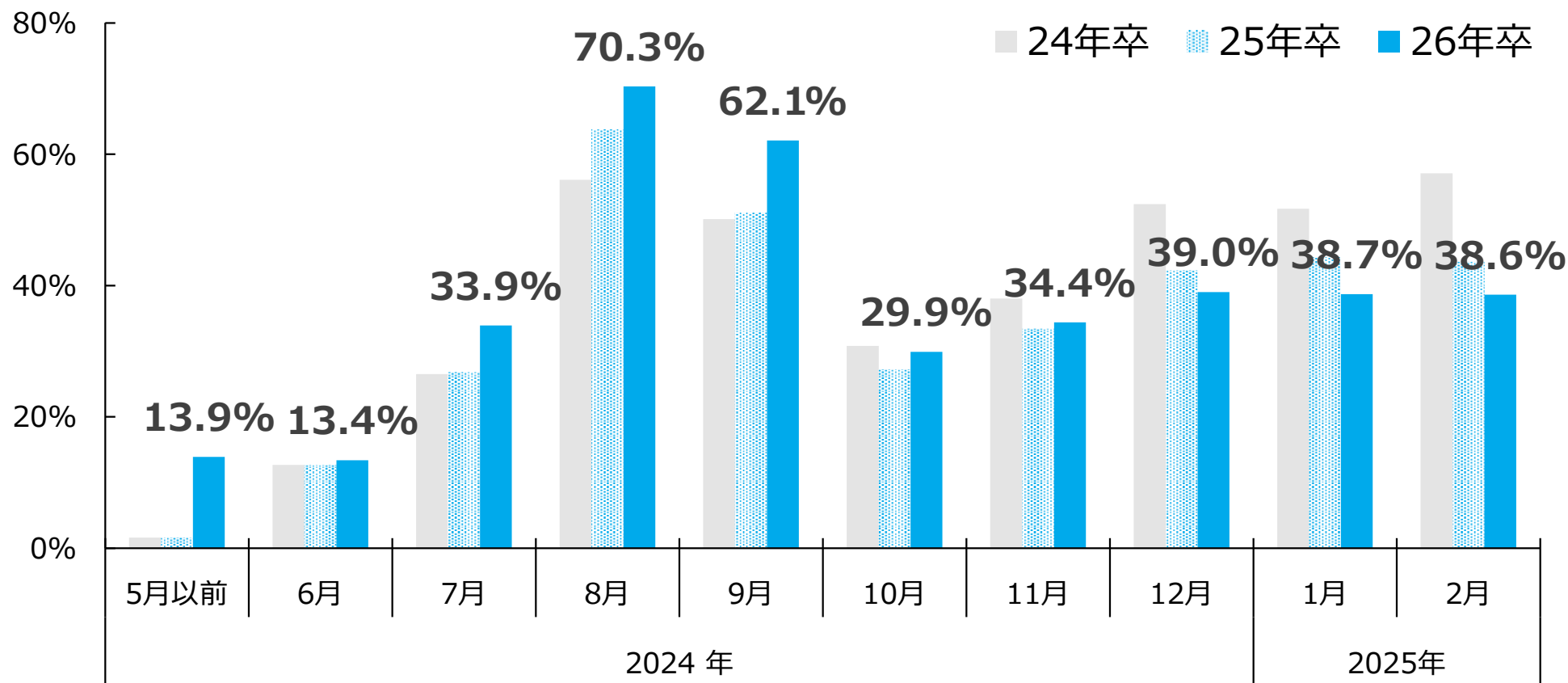
対象：修士・博士



「インターンシップ」が再定義され、  
4つの類型に整理された

# インターンシップの実施時期

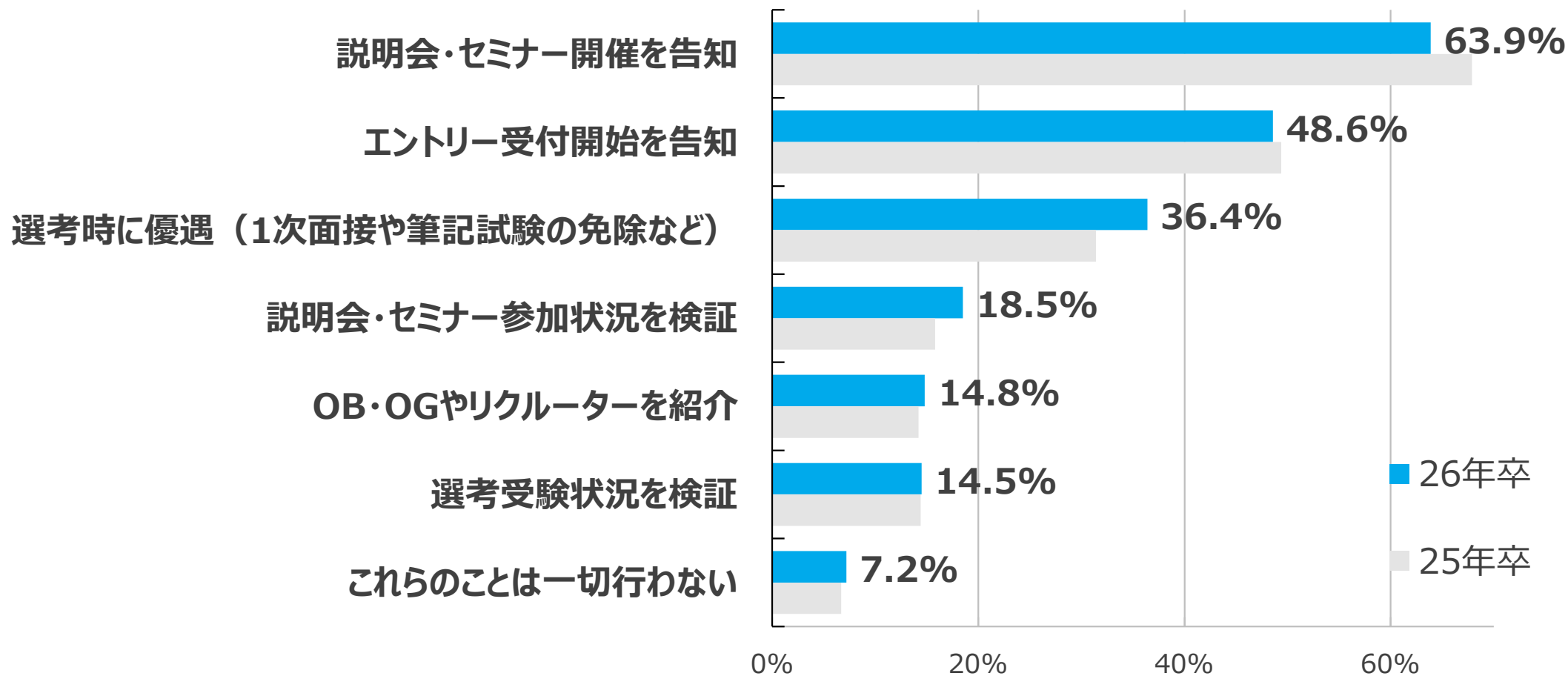
## インターンシップ&仕事体験を実施した月



※ここでのインターンシップ&仕事体験には、キャリア形成活動の4分類での「タイプ1：オープンカンパニー」は含まれません

8月～9月の夏期休暇だけでなく、  
10月から年明けにかけても実施している

企業がインターンシップ&仕事体験※に参加した学生について、行っていること



※ここでのインターンシップ&仕事体験には、キャリア形成活動の4分類での「タイプ1：オープンカンパニー」は含まれません

**「説明会・セミナー開催の告知」が最多**  
**4割弱の企業では選考時に優遇されることがある**

1. 現在の就職環境
2. 学生の就職観
3. インターンシップについて
- 4. 保護者の関わり**

## 親に言われて辛かったこと

いい会社に勤められなかった場合に想定される将来を言われたこと。

就職活動中は見守ってくれていたのですが、私の最終判断に対して、「なぜ大手じゃないのか」「この職種の方が良かったのではないかと、後から言及されたことです。その時は、自分の選択を誤っているかのように責められている感じがして、非常に辛かった。

内定をもらった企業に対して、知らない会社だ、もっと頑張った方が良いと言われたこと。親がお勧めしてくれた企業があったが、自己分析したところ自分には合わない企業だったため少し申し訳ない気持ちになった。

## 本人に意思決定させる

- 親の価値観を押し付けない
- 自分で考え、自分で決める

## サポーターになる

- 過干渉しない/落ちても責めない
- 相談役/ねぎらい、など心の支えになる
- マスコミの報道を鵜呑みにしすぎない

## 親に言われて嬉しかったこと

あまり口出しをせずに、ただ静かに見守ってくれたことです。その上で、家事や就活関連の買い物など、日常生活で支えてくれたことで救われました。自分の人生に対して真剣に向き合い、自分の進路を自分の意志できちんと決めることが自信にもつながりました。

オンラインのインターンの合間などお昼ご飯を用意してくれたり、大事な面接の時には頑張っねとか、美味しい朝ごはんを作ってくれたのが嬉しかった。大きくなにかしてもらうより小さな支えが自分はとても嬉しかった。

バイトに入れない分金銭的サポートや食料を送ってもらえて助かった。就活を頑張れるような励ましの言葉をくれたとき。

## 学生から就活生を持つ親へのメッセージ

就職活動は人生で最も自分自身と向き合い悩み抜く時期です。周囲との進捗の差に焦りを感じたり、面接官の何気ない一言に深く傷ついたりすることもあります。親御様におかれましてはどうかお子様の不安を煽ることなく、適切なアドバイスと適度な距離感で見守ってあげてください。

本人なりに頑張ると思うので、就活をしているお子さんに対しては見守ってあげるといいと思います。また親に相談したいタイプと放っておいて欲しいタイプがいると思うので、それを見極めて、寄り添ってあげるといいと思います。また危機感本人が感じているので、危機感を煽るような言葉は言わないでください！落ちても大丈夫だよとか、何とかなるよという軽い前向きな言葉が嬉しいです！

- ・大卒の採用市場は学生有利の売手市場が続きますが、業種や企業規模によって状況が違います。
- ・以前と採用活動の内容、スケジュールが多様化しており、学生の就職観・キャリア観も変化しています。
- ・就職活動という「点」だけを見ずに、低学年から卒業後もつづくキャリア形成という「線」で捉えましょう。
- ・保護者ができる支援とは、お子様の前に出ず、後ろから見守り、応援するスタンスで支えましょう。